

# 火の玉落とし

第1・第2ファイヤー場で行える、キャンプファイヤー点火方法のひとつです。  
高い場所から張った針金を火の玉が滑走し、点火を盛り上げます。

持ちもの	ぼろ布・スズランテープ・ペンチ・ハサミ
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプファイヤー場（第1・第2）の確保</li> <li>・火の玉落としセットの注文（「薪・クラフト等申込書」を使用）</li> </ul>

火の玉の設置（愛川ふれあいの村スタッフがいっしょに行います）

## ① 火の玉の作成

こぶし大(700g～1kg)の石にぼろ布を巻き、針金で固定して火の玉を作ります。



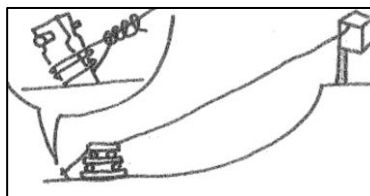
火の玉完成図

## ② 針金を張る

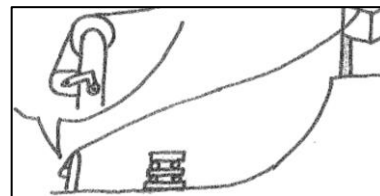
スタート地点にカラビナで火の玉を設置し、ゴールまで針金を伸ばします。

- ・針金がねじれたり、よれたりすると滑車がうまく進まず失敗の原因になります。
- ・進路を横切るところがありますので、監視役1名が必要です。

2～3人で引っぱり、針金をピンと張って金具に固定します。



針金の固定（直接）



針金の固定（間接）

## キャンプファイヤーの点火

### ① 事前の準備

実施の15～30分前に、灯油をたれない程度に火の玉にしみこませます。  
滑車が針金にまっすぐ乗っているかを確認します。

### ② 点火

火の玉に火をつけると、スズランテープが焼き切れて、滑り始めます。

- ・念のためライターは2つ用意してください。
- ・スズランテープが焼き切れない場合は、ハサミで切ってください。
- ・点火の合図を事前に決めておきます。ファイヤー場と距離が離れているので、光や音の合図ではタイミングがずれてしまう可能性があります。

### ③ 針金の回収

済みに火がついたら、すみやかに針金をペンチで切ります。

- ・切るところより火の玉のスタート地点に近い側で針金をしっかり掴んで、針金が飛び跳ねないよう留意して切ってください。
- ・針金が足元に残っていると危険です、すぐに回収してください。

針金が熱で焼き切れると、思わぬ方向に針金が飛んでしまう可能性があり、大変危険です。火がついたらすぐに切ってください。

### ④ カラビナ・灯油ボトルの返却

キャンプファイヤー終了後、カラビナと灯油ボトルを事務所に返却してください。

- ・針金も事務所で回収することができます。